

平成25年度 袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価

「袖ヶ浦市第3次図書館サービス網計画」 5 サービス目標 より

「図書館は、そのサービス水準の向上を図り、図書館の目的及び社会的使命を達成するため「数値目標」を設定し、各年度の図書館サービスの状況について、図書館協議会の協力を得つつ、「数値目標」の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うとともに、その結果を市民に公表するように努めます。」

評価基準	A : 計画どおりに実施でき、一定の成果があった。達成率 80%以上。
	B : 課題はあるものの、概ね計画どおり実施できた。達成率 60% ~ 80%未満。
	C : 不十分な点や課題が多く、計画通りに実施できなかった。達成率 60%未満。

平成26年8月
袖ヶ浦市立中央図書館

第3次図書館サービス網計画上半期（平成23～27年度）サービス目標 - 評価指標 / 実績推移

目標	サービス評価指標	目標値 (H.27)	実績 (H.23) *計画初年度	実績 (H.24)	実績 (H.25)
(1) 資料及び情報の収集・提供等	図書購入タイトル数(タイトル/年)	20,000	12,997	13,753	11,350
	蔵書数(点)	640,000	662,481	682,772	694,640
	市民一人当たりの蔵書数(点/人)	10.0	10.8	11.1	11.2
	袖ヶ浦市関係資料の受入冊数(冊/年)	250	288	255	518
	年間利用者数(人/年)	155,000	141,807	138,039	131,394
	市民実質利用率(%)	30.0	18.9	18.1	17.5
	市民新規登録者数(人/年)	2,000	1,288	1,044	1,026
	市民登録率(%)	60.0	48.6	47.9	47.0
	資料貸出数(点)	720,000	672,025	650,350	617,714
	市民一人当たりの貸出数(点/人)	11.5	10.9	10.6	10.0
(2) 社会情勢の変化に対応したサービス	一日あたりのホームページアクセス件数(件/日)	250	257	210	211
	一か月当たりのWeb予約件数(件/月)	2,100	1,947	2,089	2,135
	学校図書館への対応				
	・学校への団体貸出(冊/年, カッコ内は処理件数/年)	10,000	6,577 (314件)	4,793 (253件)	3,788 (175件)
	・学校への出張おはなし会(人/年)	8,000	6,068	5,963	5,882
	レファレンス件数(件/年)	500	361	305	372

目標	サービス評価指標	目標値 (H.27)	実績 (H.23) *計画初年度	実績 (H.24)	実績 (H.25)
(3) 利用者に応じたサービス	児童サービスの充実				
	・ブックスタート(回/年)	12	12	12	21
	・わらべうた・えほんのへや(回/年)	35	27	34	37
	・おはなし会〔館内〕(回/年)	85	71	77	71
	・おはなし会〔館外〕(回/年)	300	390	392	374
	青少年サービスの充実				
	・お薦め本リストの発行(回/年)	2	0	2	2
	高齢者サービスの充実				
	・大活字本所蔵タイトル数(タイトル)	700	698	918	979
	障害者サービスの充実				
	・宅配サービス(冊/年)	150	237	244	256
	図書館ボランティアの育成				
	・おはなし会ボランティア(名)	50	25	31	32
	・朗読ボランティア(名)	20	5	5	4
	・ブックスタートボランティア(名)	30	13	20	17
来館者満足度(%)	75.0	アンケート未実施 (隔年実施)	73.4	アンケート未実施 (隔年実施)	

注) 市民実質利用率 = 「年間に0回以上図書館資料を借りたことのある袖ヶ浦市民」 ÷ 「袖ヶ浦市人口」

ブックスタートが平成24年度までで廃止となったため、平成25年度は後継事業「すきすき絵本タイム」の実施回数を記載。

ブックスタートの廃止に伴い、平成25年度は後継事業「すきすき絵本タイム」のボランティア人数を記載。

- 評価基準 A : 計画どおりに実施でき、一定の成果があった。達成率 80%以上。
 B : 課題はあるものの、概ね計画どおり実施できた。達成率 60～80%。
 C : 不十分な点や課題が多く、計画通りに実施できなかった。達成率 60%未満。

サービス目標(1) 資料及び情報の収集、提供等

サービス内容	H.25年度 取り組み内容	サービス指標	目標値 (H.27)	実績 (H.25)	内部評価
<p>「袖ヶ浦市立図書館資料収集規程」及び「袖ヶ浦市立図書館資料選定基準」に基づき、資料の整備に努めます。</p> <p>収集計画は、利用者に常に最新の資料が提供できるように留意し、人口1人当たり10冊を基本に640,000冊を目標とします。</p> <p>なお、図書館・図書室の資料の構成は印刷媒体の図書を中心に、必要に応じて資料の電子化を図るとともに、電子資料の収集に努めます。</p> <p>また、図書館では地域の課題解決や地域文化の保存の観点から、雑誌記事や新聞記事、地域資料や地域の機関や団体が発行しているパンフレットやチラシも積極的に提供します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・選書の際は複本での購入を極力減らし、幅広いタイトルの収集を図った。予約の多い資料についてホームページと館内掲示で寄贈を呼びかけるほか、中央図書館で個人の自費出版資料の展示を行うなど、積極的に寄贈の呼びかけを行った。(個人の寄贈:H24年度は26冊24タイトル、H25年度は148冊102タイトル) ・地域資料については行政機関や自費出版等、積極的に寄贈依頼し、網羅的な収集を図った。また、過去に発行された未登録資料、冊子体以外(PDFファイル)で発行された行政資料を印刷製本して受け入れた。 ・中央、長浦に加え、平川にも特設コーナーを設けた(平川は年8回)、時宜的なテーマで図書を紹介し、利用目的に応じた読書普及の充実を図った。また特設コーナーのテーマに関する図書リストを2つ、パスファインダー(調べ方案内)を1つ作成して配布・ホームページに掲載した。 ・利用案内を刷新し、転入者へもれなく配布してもらうため、市民課、長浦・平川行政センターで転入者に配布するセットに組み込んでもらうよう依頼した。 ・長浦に子育て応援コーナーを設置し、乳幼児絵本と子育て 	図書購入タイトル数(タイトル/年)	20,000	11,350	C
		蔵書数(点)	640,000	694,640	A
		市民一人当たりの蔵書数(点/人)	10.0	11.2	A
		袖ヶ浦市関係資料の受入冊数(冊/年)	250	518	A
		年間利用者数(人/年)	155,000	131,394	A
		市民実質利用率(%)	30	17.5	C
		市民新規登録者数(人/年)	2,000	1,026	C

	<p>関連図書、保育所や幼稚園のちらしやポスターを1か所に集めて配置し、乳幼児の保護者に対し利便性を図るとともに、教育・保育等への書架案内を同コーナーに掲示し利用の喚起を図った。(在架267冊、平成25年度貸出冊数286冊。)</p> <p>・広報そでがうら掲載の「おすすめ図書」欄や中学生・高校生向けおすすめ図書リストに図書館キャラクター「トショロ」を起用し、親しみやすいものにした。</p>	<p>市民登録率 (%)</p>	<p>60</p>	<p>47.0</p>	<p>B</p>
		<p>資料貸出数 (点/年)</p>	<p>720,000</p>	<p>617,714</p>	<p>A</p>
		<p>市民一人当たりの 貸出数(点/人)</p>	<p>11.5</p>	<p>10.0</p>	<p>A</p>
<p>内 部 評 価</p> <p>全体評価 : B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・の図書購入タイトル数はH24年度より2,403タイトル減少しているが、これは図書費の減額によるものであり、図書購入冊数に対する割合では微増である。(図書購入冊数H24年度18,197冊、H25年度14,579冊)前年度より積極的に図書の寄贈の呼びかけを行い、寄贈による受入数が大幅に増加した。 から の利用指数については、さまざまな取り組みを行ったが前年度を下回った。 ・特設コーナーを平川にも新設し、利用促進を図った。(特設コーナー図書の貸出冊数:H23年度704冊【中央のみ】→H24年度3,184冊【中央・長浦】)→H25年度3,741冊【中央・長浦・平川】 課題と対策 ・利用者数の減少については、少子高齢化の加速、勤労年数の上昇等により全国的な傾向ではあるが、利用が増加している図書館もあり、引き続き利用の呼びかけを行い、平成26年度においては、講座、講演会、映画会等主催事業の参加者を資料の利用につなげるなどの利用喚起の方策を検討する。 ・電子資料の導入については、現在も全国的な広がりには至っておらず、ライセンスや利用方法の問題もあることから慎重に取り扱う必要がある。平成26年度の電算システムの更新に際し、国立国会図書館の電子情報サービスを提供できるようにするなど、充実させていく。また、所蔵資料の電子化については次期電算システムでの取り組みを検討する。 	<p>外 部 評 価</p> <p>全体評価 : B</p> <p>図書館協議会からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「年間利用者数」から「市民一人当たりの貸出数」までの利用指数については、目標値に対する達成率だけで見ればAという内部評価になる項目も含めて、減少傾向にある。働く母親の増加や高齢化の進展、スマートフォンの普及など、市民の生活様態も変化している中で、図書館としても従来と違ったアプローチが求められている。各世代の集まる様々な機会をとらえて、図書館の利用喚起につなげていく取り組みを考えていただきたい。 				

サービス目標（２）社会情勢の変化に対応したサービスの充実

サービス内容	H.25年度 取り組み内容	サービス指標	目標値 (H.27)	実績 (H.25)	内部評価
<p>情報化社会への対応</p> <p>情報化の進展に伴い、電子媒体の利用を進め、印刷媒体とインターネット等による電子媒体を組み合わせ利用できる図書館サービスを目指すとともに、市民が十分活用できるようにするため、利用の案内や支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページの「おすすめの本」の文学賞受賞作品について内容を更新し、リンク集を整理した。また視聴覚資料の所蔵リスト（PDF版）を追加した。中央図書館の特設コーナーだけでなく、長浦と平川の特設コーナーの図書リストも掲載した。 ・ 利用券の新規登録時にはWeb予約サービスのPRとパスワード登録の呼びかけを徹底し、Web予約件数が増加した。 ・ 平成26年度の電算システム更新に向けて、機器構成やホームページ環境について検討を行った。 	<p>一日当たりのホームページアクセス件数（件/日）</p>	250	211	A
		<p>一か月当たりのWeb予約件数（件/月）</p>	2,100	2,135	A
<p>学校図書館への対応</p> <p>子どもの読書活動や学習活動を推進する上で学校図書館の活用が進んでいます。図書館は学校からの依頼に応じて、団体貸出、レファレンスサービスを行うほか、学校を訪問しておはなし会や読み聞かせ、調べ学習を支援するなどの協力により、学校図書館への支援を積極的に行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体貸出については、書庫資料の中で資料の補充を行ったが、図書館への依頼件数は減少した。 ・ 読み物や絵本のセット貸出は増加している。（学級文庫として活用されている。H24：17件850冊、H25：32件1,600冊） ・ 出張おはなし会については、前年度末に案内文書を送付したり読書指導員を通じて働きかけを行うなどしたが、昼休みの実施が難しい 	<p>学校図書館への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体貸出（冊/年） 	10,000	3,788 (175件)	C

	<p>こと、朝読の時間に学校ボランティアが読み聞かせを行っていること等により、参加人数の増加にはつながらなかった。</p>	<p>学校図書館への対応 ・学校への出張おはなし会 (人/年)</p>	8,000	5,882	B
<p>高齢化社会への対応 急速に進展する高齢化に対応するため、高齢者に配慮した施設の整備、資料等の整備を図ります。 また、老人福祉施設等の関係機関・団体との連携を図りながら、高齢者クラブ、各種講習会の場において、高齢者へのPRを推進し、高齢者の立場に立ったきめ細かな図書館サービスの拡充を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大活字本を 61 タイトル購入した。 ・朗読CDについては、有名な古典文学から人気作家による時代小説まで話題性のあるものを選定し、利用が増加している。 ・公民館の高齢者教室と連携した事業を行った。(映画上映会) 	<p>(参考) ・大活字本の貸出冊数 (冊/年) H22年度 1,174 冊 H23年度 2,136 冊 H24年度 2,773 冊</p>		4,177	B
<p>関連施設・関係課との連携 他の公共図書館との連携を強化し、また、学校図書館、博物館などの図書館以外に資料収集を行っている施設との連携を強化します。 また、子育て支援を推進し、図書館利用が図れるよう公民館や関係課との連携を強化します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内で所蔵していない図書のリクエストについて、国会及び大学を含む県外図書館 4 館から借り受けて対応したほか、2 件の国立国会図書館への資料複写依頼に対応した。 ・昭和中学校図書委員に、中央図書館児童コーナーの夏休み期間の飾りつけを毎年行ってもらっている。また、「すきすき絵本タイム」を開催するにあたり、公民館図書室に新設した「ふれあい読書コーナー」の飾りつけも職員と共同で行った。 ・平成 26 年度から県立袖ヶ浦高校の新生オリエンテーションの際に図書館利用案内の配布を依頼することとし、その打合わせや準備を 				B

	<p>行った。(300部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館図書室で「すきすき絵本タイム」を開始し、子育てのための本のコーナーを設置した。 ・市民会館の「子どもチャレンジ」において小学校4年生から6年生30名を対象に、図書館案内や映画会、おはなし会等を実施した。 ・長浦公民館の「雑学塾」で中央図書館のバックヤードツアー(書庫見学)を行った。 ・平岡公民館の「通学合宿」において平岡図書室を活用してもらった。(本の貸出、紹介等) ・平岡公民館まつりで、図書室においても「すきすき絵本タイム」や「しおり作り」を実施し、公民館事業との連携を行った。 ・中央図書館資料展示「西上総の古墳」を郷土博物館の「上総の古墳」に合わせて実施し、博物館より土器や図書資料を借用、学芸員の協力により展示を行った。 				
<p>国際化への対応 国際化が急速に進展する中、市民が外国の文化等を理解するための資料、また、外国人が日本文化を理解するための外国語資料の充実を図り、外国語による利用案内等を作成します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーベル文学賞受賞作家の著作を中心に、英語の資料を7冊、中国語の資料を4冊、韓国語の資料を3冊購入した。英語資料については貸出が増加した。 	<p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語図書の貸出冊数 H22年度 455冊 H23年度 470冊 H24年度 624冊 		847冊	B

<p>職業能力開発の要求への対応</p> <p>産業構造・労働市場の変化等により就職、転職、能力開発、日常の仕事等で図書館を利用する人が増加しています。こうした利用者に対応するための資料の収集・提供、適切なレファレンスの実施等、個人の学習ニーズに応える機能を高めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークの求人情報をプリントアウトし、中央と長浦でファイルして提供した。 ・資格取得、就職、転職、労働法規等の資料を積極的に購入し、関連のチラシ、パンフレット等のコーナーを長浦に設置した。 ・パスファインダー（調べ案内）「働くということ」の修正版を発行した。 				B
<p>レファレンスサービスの充実と利用促進</p> <p>課題解決支援機能を充実させるためには、利用者が直面する課題や問題を的確に捉え、図書館資料を駆使し、情報を広範囲にわたって調査し、確実に収集することが重要です。</p> <p>図書館は受け身で利用者の来館を待っているだけでなく、関係機関や団体と連携・協力をしながら、積極的に情報発信を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市長部局、教育委員会の各課に調査研究、情報収集等のサービスの案内を送付した。 ・児童を対象に「植物」、一般を対象に「健康」についてのパスファインダー（調べ案内）を作成した。 ・中央図書館にレファレンスコーナーの案内板を設置、カウンターを経由せず直接レファレンス・カウンターに来る利用者が増えた。 ・カウンター端末内に*クイック・レファレンスの記録を書き込むフォルダを作成し、各図書館での問い合わせ内容を全館で閲覧できるようにした。 	レファレンス件数 (件/年)	500	372	B

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">内 部 評 価</p>	<p>全体評価：B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページアクセス件数、Web予約件数については、目標値としては概ね達成できた。 ・大活字本や朗読CDについては、積極的に購入を進めてきたことにより、高齢者を中心に利用が大幅に増加している。 ・市民会館、公民館、博物館、学校との連携を積極的に行った。 ・外国語の資料については、海外でも人気の高い日本人作家の著作や、ノーベル文学賞受賞作品等話題性の高い資料を購入した。 <p>課題と対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度の電算更新時には、ホームページに子ども向けページの追加を予定している。引き続きデータベースやホームページ環境の充実を検討していく。 ・出張おはなし会については、学校ボランティアの活動は絵本や紙芝居の読み聞かせが中心であり、子どもたちが素話を聞く体験は少ないことから、国語の授業の昔話のカリキュラムと組んで案内するなどして引き続き学校への働きかけを行っていく。 ・外国語の所蔵資料については、英語の資料以外の利用が少ない。平成25年度は中国語サークルに資料紹介を行ったが、平成26年度は図書館だよりや広報、ホームページ等を活用して、他方面に積極的にPRしていく。 ・職業能力開発への対応については、ニーズを把握しながら、資料・情報提供の充実を進めていく。 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">外 部 評 価</p>	<p>全体評価：B</p> <p>図書館協議会からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な取り組みを行い、外国語図書の貸出冊数等、大きな伸びを示している指標があることは評価できる。 ・情報化社会への対応として、平成26年度のホームページ更新に際しては、コンテンツや蔵書検索などの機能を改善し、魅力あるものにしていただきたい。 ・高齢化社会の進展に対応する図書館サービスとして、ボランティアの活用について、今後の課題として研究していただきたい。
------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

*クイック・レファレンス：「いわゆる参考質問のうち、参考係員の日常の知識や手近の参考図書だけで即座に回答できるような簡単な質問のこと。」
（「図書館用語集 四訂版」日本図書館協会刊）

サービス目標（3）利用者に応じたサービス

サービス内容	H.25 年度 取り組み内容	サービス指標	目標値 (H.27)	実績 (H.25)	内部評価
<p>子どもたちのために 豊かな心を育てるため、また、社会の変化に主体的に対応するため、学校、幼稚園、保育所等との連携を図りつつ、「袖ヶ浦市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもたちへのサービスを推進します。</p> <p>また、児童・青少年サービスを効果のあるものとするため、PTAや子ども会、子どもの読書活動を推進する団体・グループやボランティアとの連携強化に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度からブックスタートに替わる事業として、6 月から新たに「すきすき絵本タイム」を実施した。（根形公民館図書室：定例 10 回・参加人数 186 人、平岡公民館図書室：定例 10 回・参加人数 73 人、平岡公民館まつり開催時・38 人） ・おはなし会については、中央図書館のえほんのへや（H24 年度 69 人→H25 年度 116 人）、おはなし会（H24 年度 65 人→H25 年度 84 人）、長浦の夏休みおはなし会（H24 年度 18 人→H25 年度 51 人）の参加者が増えている。 ・出張おはなし会については市内小中学校、保育所、幼稚園、私立幼稚園、放課後こどもクラブ等継続的に実施している。平岡の幼児家庭教育学級や子育て支援センターぱる（昭和保育園）においてもボランティアと協働して絵本の読み聞かせを行った。 ・おすすめ図書リストは中学生、高校生対象別に各 1 回発行し、高校生向けは県立袖ヶ浦高校に 80 部配布した。 ・社会教育推進員事業として、図書館まつり 	<p>児童サービスの充実 ・ブックスタート（回/年） 平成 25 年度より「すきすき絵本タイム」に変更</p>	12	21	A
		<p>児童サービスの充実 ・わらべうた・えほんのへや（回/年）</p>	35	37	A
		<p>児童サービスの充実 ・おはなし会〔館内〕（回/年）</p>	85	71	A
		<p>児童サービスの充実 ・おはなし会〔館外〕（回/年）</p>	300	374	A

	<p>において、「親子いっしょのおはなし会」「大型絵本とおはなし会」を開催した。また「子ども読書の日記念行事」のスタンプラリーでは、記念品の発案から作成までを職員と協働で行った。</p>	<p>青少年サービスの充実 お薦め本リストの発行 (回/年)</p>	2	2	A
<p>高齢者のために 高齢者に配慮した施設の整備とともに、大活字本、拡大読書器などの資料や機器・機材の整備・充実に努めます。 また、社会福祉協議会、高齢者クラブ等の関係機関・団体と連携を図りながら、映画会、講習会等の読書普及事業の実施、図書館利用の際の介助など、きめこまかな図書館サービスの提供に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大活字本 61 タイトルを購入したほか、文芸作品の朗読CD 23 タイトルを購入した。また、利用者アンケートの要望に応え、所蔵している大活字本のリストを作成した。 ・名画鑑賞会を中央、長浦、平川で定期的に計 44 回上映し、各館ともに参加者は増加している。 	<p>高齢者サービスの充実 ・大活字本所蔵タイトル数 (タイトル)</p>	700	979	A
<p>図書館利用に障害のある人のために (視覚・聴覚・肢体・学習、施設入所者等) 障害のある利用者に配慮した施設の整備を進めるとともに、障害のある利用者が資料利用を可能にする機器・機材の整備・充実に努めます。 また、関係機関・団体との連携をとりながら、手話サービス、対面朗読、宅配サービス等、きめこまかな図書館サービスの提供に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対面朗読サービスについては、市の広報への年 1 回のPRとは別に、おすすめ図書のカラムにも案内記事を掲載した。 ・中央図書館玄関前の点字ブロック等を整備し、来館者の安全対策を図った。また玄関わきに身障者用駐車スペースを 1 台分設置した。 	<p>障害者サービスの充実 ・宅配サービス(冊/年)</p>	150	256	A

<p>主体的に学ぶ市民のために</p> <p>市民の自主的、自発的な学習活動を支援するために、各種講座・講演会、名画鑑賞会、資料展示等を主催するとともに、公民館や博物館等の社会教育機関、学校、民間の関係機関との共催事業等、多様な学習機会の提供に努めます。</p> <p>また、市民の情報活用能力の向上を支援するため、学習機会の提供に努めます。</p> <p>a . 余暇活動支援 b . 学習生活及び調査研究支援 c . IT支援 d . 行政支援 e . ビジネス支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文芸講座、著者を囲む会、資料展示、図書館まつり、名画鑑賞会等の読書普及事業を実施した。図書館まつりについては事業の見直しを検討した。 ・図書や新聞、雑誌だけでなく、地域のフリーペーパー等による生活情報、新聞折り込みの不動産情報、法情報のパンフレット等、幅広い分野の情報収集と提供に努めた。 				B
<p>サークル活動をする人のために</p> <p>市民が図書館資料を共有する中で交流し、暮らしに根ざした自主的な活動を展開していくことは、地域の文化活動を豊かにします。図書館では市民の文化活動、コミュニケーション活動の拠点として、図書館資料、施設を利用して活動するサークルに対して、その活動を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループサークル「むかしむかしの会」との共催によるおはなし会事業を、毎年3回実施している。 ・図書館まつりにおいては、グループサークルに参加を呼びかけ、作品展示や朗読発表など7団体が参加した。 				B

	<p>ボランティア活動をする人のためにボランティアの自主性や自発性を尊重するとともに、国際化、情報化等社会の変化への対応や、児童・青少年、高齢者、障害者等、多様な利用者に対する図書館サービスを展開していくため、ボランティアとして参加しやすい環境づくりに努めます。</p> <p>また、ボランティア活動への参加を促進するため、活動の場などに関する情報の提供や、養成・研修の実施に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会ボランティアについては、ボランティア会議の中でおはなし会向けの絵本の紹介等を行い、スキルアップの機会を設けた。 ・ブックスタート事業が廃止になり「すきすき絵本タイム」に移行したが、読み聞かせ方法の変更等に柔軟に対応してもらえた。 ・社会教育推進員、図書館協議会委員との合同で、先進地への視察研修を実施した。(視察先：茨城県神栖市立中央図書館 参加者25名) 	<p>図書館ボランティアの育成 ・おはなし会ボランティア(名)</p>	50	32	B
			<p>図書館ボランティアの育成 ・朗読ボランティア(名)</p>	20	4	C
			<p>図書館ボランティアの育成 ・ブックスタートボランティア(名)</p>	30	17	B
内 部 評 価	<p>全体評価：B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童、高齢者、宅配サービスについては概ね目標値を達成している。 <p>課題と対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すきすき絵本タイムは、ブックスタートとは異なり、リピーターへの対応が主となるため、ボランティアについても様々な絵本の読み聞かせや、手遊び、多人数への読み聞かせも考慮に入れたスキルアップを図っていく。また、親子への個別の対応が主であるため、ボランティアの増員(更なる養成)についても検討する。 ・青少年サービスについては、県立袖ヶ浦高校の協力を得て、平成26年度には、新入生オリエンテーション時の利用案内の配布、夏休みトショロ月間のおはなし会への生徒の参加、子ども映画会時の生徒作品クレイアニメの上映など、連携を進めながら事業を行っていく。 		外 部 評 価	<p>全体評価：A</p> <p>図書館協議会からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館図書室で実施している「すきすき絵本タイム」については今後も積極的なPRを行い、参加者数を増やす努力をしていただきたい。 ・児童サービスにおける学校ボランティアへの研修機会の提供、高齢者サービスにおけるボランティアの研究等、これからの図書館ボランティアのあり方について検討していただきたい。 		